

JCSOS 北陸信越地区セミナー

海外危機管理ワークショップ(危機事象の発生と危機管理広報)

日時 **2025 年 11 月 21 日 (金) 14:30-16:40**

開催方法：対面式にて実施

場所： 国立大学法人 新潟大学 五十嵐キャンパス

①広報対応とその成功に向けて

危機管理に対する一定の知識と理解を有していても、危機事象が発生した際に持てる力を十分に発揮することは難しい。特に、危機が海外で発生した場合には情報が限定され、マスコミ各社の関心度も格段に増すことから、海外危機事例に国内事例も含めてこれらの実例を基に望ましい対応について解説します。

②事例検討（ワークショップ形式）・対応策発表

③情報発信を原因として生じる危機の予防に向けて

危機管理広報は、いわば『生き物』であり、成功と失敗は思わぬところにあります。本セミナーでは事前の事態準備行動から緊急時の事態対処行動へスムーズに移行させる秘訣を紹介します。

講師：酒井 悦嗣 氏

(株)日本リスクマネジメント代表取締役 / JCSOS アドバイザー



講師紹介 酒井 悦嗣 (さかい えつじ) JCSOS アドバイザー

(株)日本リスクマネジメント代表取締役 / 日本渡航医学会名誉会員 / (前) 国立大学法人鳥取大学講師 / (元) 海外医療支援協会理事・事務局長 / (元) AIU 保険会社損害サービス統括本部海外旅行保険支払責任者 / (元) ジェイアイ傷害火災保険株式会社リスクソリューションセンター担当部長 / (元) 国立大学法人大阪大学危機管理指導講師

1973 年 4 月 AIU 保険会社入社

1993 年 8 月 AIG と JTB による旅行保険専門会社 (JI 社) 設立に参画

2010 年 3 月ジェイアイ傷害火災保険株式会社定年退職

2010 年 4 月より現職

【長年保険会社における業務を通じて数多く重大事故への対応指揮を行う。リスクマネジメントの一環として世界 27 か国 308 病院を訪問し、キャッシュレス提携交渉を行い 211 病院と契約を締結する。医学は学問として世界共通であるも、営利事業としての医療は国や地域により文化的に異なる。これを医療文化としてその違いを紹介し、緊急時の対応をそれぞれの環境に応じて最適化することにより、被害学生・教職員のダメージを最小化することに成果を上げている。脳死判定後の患者 3 人を米国から日本にそれぞれチャーター機により緊急搬送し、3 名とも意識回復した事実を第 10 回日本渡航医学会学術集会にて講演、その内容が同日毎日新聞夕刊一面に掲載された。海外重大事故の緊急対策・対応指揮にあたり、現場から大学を取り巻く環境の変化をみつめる。】

- 主催 特定非営利活動法人 海外留学生安全対策協議会 (JCSOS)
- 協力 国立大学法人 新潟大学
- 後援 特定非営利活動法人 JAFSA (国際教育交流協議会)
- 対象 JCSOS 会員 / JAFSA 正会員の大学・高専の皆様・国際交流に携わる学校の皆様
- 会場 国立大学法人 新潟大学 五十嵐キャンパス 総合教育研究棟 D 棟 1 階 大会議室
- 定員 25 名程度 (JCSOS 会員 1 会員につき 3 名まで、JAFSA 会員 1 会員につき 2 名まで、その他 1 団体につき 1 名まで)
- 参加費用 無料
- 申込締切 11 月 14 日 (金) (定員になり次第締め切らせていただきます。)
- お申込み方法 [こちら](https://www.jcsos.org/archives/11967) (https://www.jcsos.org/archives/11967) よりお申し込みください。